

日本気象学会第35期役員候補者選挙の結果について（お知らせ）

2008年3月11日

日本気象学会第35期役員候補者選挙

選挙管理委員会

委員長 永田 雅

1 有権者数、投票総数等

地区	有権者数	投票総数	有効票数	無効票数
北海道	87	45	45	0
東北	59	33	33	0
関東	575(6)	308(2)	306(2)	2
中部	107	54	53	1
関西	186	97	97	0
九州	63	30	30	0
沖縄	26	15	14	1
その他	-	1	0	1
計	1103	583	578	5

（ ）内は外国在住者。その他は投票者不明分。

2 各候補者の得票数

（当選等の別、（得票数）、立候補者氏名、現職の順）

（1）全国区・理事（定数9名、立候補者数10名）

- 【当選】(414) 津田 敏隆 京都大学生存圏研究所・教授、同・副所長、開放型研究推進部・部長
- 【当選】(513) 新野 宏 東京大学海洋研究所・教授
- 【次点】(391) 藤谷 徳之助 (財)日本気象協会顧問、国立環境研究所高度技能専門員（地球温暖化観測推進事務局/環境省・気象庁・事務局長）
- 【当選】(453) 林田 佐智子 奈良女子大学理学部・教授
- 【当選】(470) 中島 映至 東京大学気候システム研究センター長、IAMAS 国際放射委員会会長、日本学術会議連携会員、IAMAS 小委員会会長
- 【当選】(480) 余田 成男 京都大学大学院理学研究科・教授
- 【当選】(468) 田中 博 筑波大学生命環境科学研究科・教授
- 【当選】(455) 近藤 豊 東京大学先端科学技術研究センター・教授
- 【当選】(483) 安成 哲三 名古屋大学地球水循環研究センター・教授、筑波大学名誉教授、海洋研究開発機構地球フロンティア研究センター・水循環変動予測研究プログラム プログラム・ディレクター（兼務）
- 【当選】(418) 住 明正 東京大学サステナビリティ学連携研究機構・地

球持続戦略研究イニシアティブ総括ディレクター・教授、気候システム研究センター・教授(併任) AGS 推進室長

(2) 地方区・理事(定数13名)

[北海道](定数2名)

【当選】(45) 山崎 孝治

北海道大学大学院地球環境科学院・教授

【当選】(45) 内田 裕之

札幌管区気象台技術部予報課長

[東北](定数2名)

【当選】(33) 岩崎 俊樹

東北大学大学院理学研究科・教授

【当選】(32) 関田 康雄

仙台管区気象台・技術部長

[関東](定数2名)

【当選】(296) 藤部 文昭

気象研究所予報研究部・第3研究室長

【当選】(297) 近藤 裕昭

(独)産業技術総合研究所・環境管理技術研究部門・大気環境評価研究グループ長

[中部](定数2名)

【当選】(52) 中村 健治

名古屋大学地球水循環研究センター・教授

【当選】(51) 湯田 憲一

名古屋地方気象台長

[関西](定数2名)

【当選】(95) 里村 雄彦

京都大学大学院理学研究科・教授

【当選】(95) 隈 健一

大阪管区気象台・技術部長

[九州](定数2名)

【当選】(30) 伊藤 久徳

九州大学大学院理学研究院・教授

【当選】(28) 山田 眞吾

福岡管区気象台・技術部長

[沖縄](定数1名)

【当選】(14) 伊藤 秀美

沖縄気象台長

いずれの地区も次点なし

(3) 全国区・監事(定数2名)

【当選】(534) 藤川 典久

気象庁地球環境・海洋部気候情報課・予報官

【当選】(529) 北川 裕人

気象庁予報部数値予報課・予報官

次点なし

以上の開票結果に相違ありません。

開票立会人 林 俊宏